

第27回ATRS（国際航空輸送学会）世界大会

（ポルトガル・リスボン 2024年6月30日～7月4日）

宿利会長、屋井所長以下6名が参加、4名が発表



「コロナ後の時代における
航空事業者の戦略と経営
管理」

藤村修一特任研究員



「コロナ禍の時期に航空
事業者のビジネス構造に
何が起こったか？」

山下幸男特任研究員



「航空交通におけるCO2
削減の活動」

小御門和馬研究員



「空港エアサイドの太陽光
発電と駐車EVを利用し
た空港の余剰電力管理の
可能性」

屋井鉄雄所長



宿利会長から

Ruotian Chen氏ら(中国の国際ビジネス大学)
にJTTRI Special Awardを授与

アジア・太平洋運輸フォーラム2024（アジア開発銀行主催） （フィリピン・マニラ 2024年5月14日～17日）



「海運CO2削減のための燃料転換
に関する調査検討」の成果
谷口正信研究員

ITF（国際交通フォーラム）交通大臣会合2024 （ドイツ・ライプチヒ 2024年5月22日～24日）

「ゼロエミッション車の普
及拡大に向けてギャップ
を埋める」

邱秉瑜研究員



第35回IGC（国際地理学大会） （アイルランド・ダブリン 2024年8月24日～30日）



「新幹線は日本の地域雇
用にどのような影響を与
えたか？-計量経済学的
な分析-」

邱秉瑜研究員

MEPC81に提出された情報提供文書の表紙 (JTTRIの研究成果であることが示されている)

MARINE ENVIRONMENT PROTECTION
COMMITTEE
81st session
Agenda item 7

MEPC 81/INF.26
12 January 2024
ENGLISH ONLY
Pre-session public release:

REDUCTION OF GHG EMISSIONS FROM SHIPS

Study on the impact of mid-term GHG reduction measures towards the 2023 IMO GHG Strategy goals

Submitted by Japan

SUMMARY

Executive summary: This document contains research studies on the GHG Fuel Intensity (GFI) reduction pathways and requirements in light of the adoption of the 2023 IMO GHG Strategy. The studies were implemented by the Japan Transport and Tourism Research Institute (JTTRI).

measures. The study emphasizes the importance of using appropriate regulatory and incentive measures such as market-based measures (MBMs).

Strategic direction, 3
if applicable:

Output: 3.2

Action to be taken: Paragraph 10

Related documents: Resolution MEPC.377(80) and ISWG-GHG 15/3/1

Introduction/Background

1 The GHG Fuel Standard (GFS) regulation is being considered as one of the mid-term measures to achieve the ambitious targets of the 2023 IMO GHG Strategy. The GFS regulation is intended to transform maritime fuel, which will require significant efforts not only on the maritime side but also on shore. However, the specific details and schedule of the efforts required by the regulation are not clear. This document provides information on a study that quantitatively examined the GHG Fuel Intensity (GFI) lines required to achieve the 2023 IMO GHG Strategy and the efforts that would be required if these lines were implemented using scenario simulation.

2 This study is implemented by the Japan Transport and Tourism Research Institute (JTTRI). JTTRI is an independent, non-profit organization founded in 1968 which has contributed to the development of the administration, business, and industries of transport and tourism and the progress of academic research in these fields.

I:\MEPC81\MEPC 81-INF.26.docx

日韓JMC/JTTRI-KMI/KUMLCのMOU締結と

第1回交流セミナー

(東京 2024年3月26日~27日)

日本海事センター(JMC)、韓国海洋水産開発研究院(KMI)、高麗大学海事法研究センター(KUMLC)及び当研究所(JTTRI)の4研究機関の相互交流等を目的とした了解覚書(MOU)を締結

同日に、4研究機関の第1回交流セミナーを開催し、「海事サプライチェーンのDX」及び「海事分野における脱炭素化」をテーマに日韓双方で研究成果を発表するとともに、今後の更なる研究協力等について意見交換をした。



MOU締結式

(左からJMC/JTTRI宿利会長、KMIキム院長、KUMLCキム所長)

現地見学会では、東京港大井埠頭に日本郵船東京コンテナターミナルを訪問し、コンテナの荷役の様子などを見学した。



竹内智仁主任研究員



「日韓における海事産業の現状と課題」及び「コンテナターミナルにおける海陸のデジタル情報連携」をテーマに日韓双方で研究成果を発表するとともに、活発な意見交換を行った。



大森孝生特任研究員



現地見学会では、完全自動化された第7埠頭を含む釜山新港コンテナターミナルを訪問し、Busan Port Authority (BPA:釜山港公社)とデジタル化等について意見交換を行った。



釜山新港コンテナターミナル
第7埠頭



BPA事務所での説明会

第27回日中運輸経済技術交流会議

(東京 2024年7月30日・31日)

国家発展改革委員会総合運輸研究所(ICT)と国土交通省・運輸総合研究所(JTTRI)との間で開催

1984年以来、年1回交互開催が基本

「交通運輸の脱炭素化」「物流システムの革新」「ジェネラル・アビエーション」をテーマに双方から研究成果を発表するとともに、活発な意見交換を行った。



現地見学会では、つくばヘリポートにおいて株式会社AirX、東京ヘリポートにおいて株式会社アリラ等を訪問し、空飛ぶクルマの実用化を見据えた事業等について説明をいただいた。



菅生康史研究員



手塚有希子研究員



安部遼祐客員研究員



東京ヘリポート(日本フライトセーフティ(株)社内)

～ 持続可能な社会の実現に向けた価値の創造～

▶ 2024. 4. 16 (金) 4:00～7:00 (日本時間) / 10. 5 (木) 15:00～18:00 (米国東部時間)
米国ワシントンD.C. (於ロナルド・レーガン・ビルディング) 及びオンライン配信 ※日英同時通訳
主催: 運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所及び米国公共交通協会



開会挨拶



宿利 正史
運輸総合研究所/
ワシントン国際問題研究所会長



ポール・スコウテラス
米国公共交通協会
(APTA) 会長



山田 重夫
駐米日本国大使館
特命全権大使
(録画出演)

来賓挨拶



ジェニファー・ミッチェル
米国運輸省
連邦鉄道局副局長



岡野 まさ子
国土交通省鉄道局審議官

基調講演

パネルディスカッション① 鉄道が都市をつなぐことでもたらされる社会的・経済的価値

モデレーター



クリス・ブレイディ
APTA高速鉄道委員会
委員長

パネリスト



与謝野 優
東海旅客鉄道株式会社 執行役員
総合技術本部副本部長・技術企画部海
外高速鉄道プロジェクトC&C事業室長



奥村 聡子
東日本鉄道株式会社
ロサンゼルス事務所長



アンディ・バイフォード
上級副社長
(高速鉄道開発担当)
アムトラック



チャド・エジソン
カリフォルニア州
運輸省筆頭副長官

パネルディスカッション② 鉄道による都市の魅力・レジリエンスの向上

モデレーター



ジェニファー・デブウル
バージニア州
鉄道・公共交通局長

パネリスト



上村 正美
阪急電鉄株式会社 専務取締役
都市交通事業担当



山上 範芳
東京地下鉄株式会社 常務執行役員
(国際ビジネス部担当)



キャサリン・リナルディ
ニューヨーク都市圏交通公社
メトロノース鉄道 社長



ホリー・アーノルド
メリーランド州
交通局長

経済安全保障のためのシーレーンの安全確保と サプライチェーンの強靱化シンポジウム2024



▶ 2024. 10. 18 (金) 4:00~7:00 (日本時間) / 10. 17 (木) 15:00~18:00 (米国東部時間)

米国ワシントンD.C. (於ジョーンズホプキンス大学ライシャワー東アジア研究センター) 及びオンライン配信 ※日英同時通訳
主催：運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所及びジョーンズホプキンス大学ライシャワー東アジア研究センター



歓迎挨拶



ケント・カルダー
ジョーンズホプキンス大学
高等国際問題研究大学院
ライシャワー東アジア研究
センター長

開会挨拶



宿利 正史
運輸総合研究所/
ワシントン国際問題研究所
会長

来賓挨拶



山田 重夫
米国駐節日本国
特命全権大使

基調講演



アン・フィリップス
米国運輸省
連邦海事局長



寺田 吉道
国土交通省
国土交通審議官
(国際担当)

パネルディスカッション①

昨今のシーレーンを巡る安全保障情勢及び海洋の安全確保と秩序維持



石井 昌平
前海上保安庁長官
国土交通省参与



米国沿岸警備隊高官



モデレーター
ジェフリー・F・グレッシュ
米国国防大学教授

パネルディスカッション②

海事産業におけるサプライチェーン確保の課題と対策



林 光一郎
日本郵船株式会社
調査グループ
グループ長



ヘンリー・ヌズム
Waterman
Logistics社長



アン・フィリップス
米国運輸省
連邦海事局長



寺田 吉道
国土交通省
国土交通審議官
(国際担当)

第2回・第3回 日タイ観光WG



第2回テーマ：国と地方のアイデンティティ・地方への観光客誘致のための原動力

～日タイにおける戦略的取組とベストプラクティスについて～

- ▶ 2024.5.7 (火) 15:30～18:15 (日本時間) / 13:30～16:15 (タイ時間)
タイ・バンコク (於タイ観光スポーツ省)及びオンライン配信
※日タイ同時通訳
主催：運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所 (JTTRI-AIRO) 及びタイ観光スポーツ省



1. 冒頭挨拶

タイ:観光スポーツ省 モンコン副次官
日本: JTTRI 奥田専務理事・AIRO所長

2. 有識者説明

観光庁観光戦略課長 河田敦弥
じゃらんリサーチセンター長 沢登次彦
国家経済社会開発委員会 (NESDC) シニア・アドバイザー
スリヨン タンヤギツジャーヌギツ
研究開発推進機関「タイ科学・研究・イノベーション」(TSRI)
上級専門家 スパワディー ポティヤラー

3. 議論

4. 閉会挨拶:

タイ:観光スポーツ省 モンコン副次官
日本: JTTRI 奥田専務理事・AIRO所長

第3回テーマ：地域主体の観光振興について ～コミュニティベースドツーリズム (CBT) の ベスト・プラクティスに関する意見交換～

- ▶ 2024.8.27 (火) 10:30～13:20 (日本時間) / 8:30～11:20 (タイ時間)
タイ・バンコク (於タイ観光スポーツ省)及びオンライン配信
※日タイ逐次通訳
主催：運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所 (JTTRI-AIRO) 及びタイ観光スポーツ省

1. 冒頭挨拶

タイ側：観光スポーツ省 モンコン副次官
日本側：JTTRI 奥田専務理事・AIRO所長

2. 有識者説明

- 持続可能な観光のための指定地域管理局 (DASTA)
ワンビヴァ 戦略管理部長
「コミュニティ主体の観光地マネジメント」
- タイ国政府観光庁 (TAT) 国際協力部門 (TAT)
プロイチョンプー氏
「観光プロモーション：タキアンティアのケースス

タディ」

- 日本旅行業協会 伊東 海外旅行推進部国際センター所長
「日本の旅行業界と海外旅行販売の現状と課題」
運輸総合研究所 鈴木 研究員
「観光を活用した持続可能な地域経営に関する研究」

4. 議論

6. 閉会挨拶

日本: JTTRI 奥田専務理事・AIRO所長
タイ: 観光スポーツ省 モンコン副次官

第2回日越観光・人的交流ワークショップ

『文化遺産を有する地域における「観光開発」と「保存」の調和』 ～日本とベトナム両国における持続可能な観光に向けて～

▶ 2024.10.2 (水) 15:00～18:10 (日本時間) 13:00～16:10 (ベトナム時間)
日本・東京 (於運輸総合研究所) オンライン配信のみ ※日越英同時通訳
主催: 運輸総合研究所・同アセアン・インド地域事務所 (JTTRI-AIRO) 及び
ベトナム国家観光局 (VNAT)・ベトナム観光開発調査研究所 (ITDR)



日本時間
ベトナム時間

プログラム

15:00 - 15:10
13:00 - 13:10

開会挨拶

宿利 正史
一般財団法人
運輸総合研究所
会長



フアム・ヴァン・トゥイ
ベトナム国家観光局
(VNAT) 副長官



15:10 - 15:20
13:10 - 13:20

出席者紹介

ゲン・ドゥック・ミン
駐日ベトナム社会
主義共和国大使館
臨時代理大使



平嶋 隆司
観光庁次長



15:20 - 15:30
13:20 - 13:30

来賓挨拶

休憩

パネリスト

河田 敦弥
観光庁 観光戦略課 課長
岩本 一也
岐阜県 白川村 副村長
伊与田 美歴
日本政府観光局理事
ゲン・アイン・トゥアン
ベトナム観光開発調査研究所 (ITDR) 所長



モデレーター

沢登 次彦
株式会社リクルート
じゃらんリサーチ
センター センター長

意見交換

17:00 - 18:00
15:00 - 16:00

有識者発表

15:30 - 15:45
13:30 - 13:45

持続可能な観光に関する観光庁の取組について

河田 敦弥
観光庁
観光戦略課 課長



15:45 - 16:00
13:45 - 14:00

生活と観光の両立を目指す白川郷

(質疑応答10分)

岩本 一也
岐阜県 白川村 副村長



16:10 - 16:25
14:10 - 14:25

ベトナムの遺産を有する地域における
持続可能な観光開発政策

ゲン・アイン・トゥアン
ベトナム観光開発調査研究所
(ITDR) 所長



16:25 - 16:40
14:25 - 14:40

世界文化遺産「古都ホイアン」と「ミーソン遺跡群」
における観光開発と保存の両立の教訓

(質疑応答10分)

ヴァン・バー・ソン
クアンナム省文化スポーツ
観光局 副局長
※オンライン参加



閉会挨拶

18:00 - 18:10
16:00 - 16:10

ゲン・アイン・トゥアン
ベトナム観光開発調査研究所
(ITDR) 所長



奥田 哲也
運輸総合研究所
専務理事



アジア交通学会 (EAST-Japan)特別セミナー2024 in 東京 (協賛：運輸総合研究所)

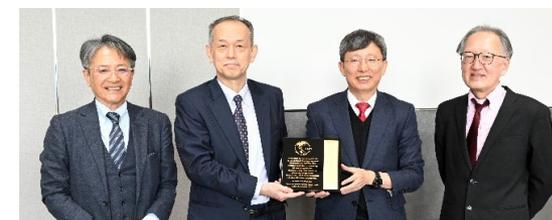
開催日	2024年3月1日 (金) 13:30~15:45
場 所	日比谷スカイカンファランス及び オンライン配信 (日英同時通訳)
開会挨拶	藤原 章正 広島大学教授、EAST会長
基調講演	「韓国におけるモビリティの変革と鉄道投資戦略」 Jaehak OH KOTI院長 EASTS前会長
パネル ディス カッショ ン	<p>Jaehak OH KOTI院長 EASTS前会長 (第7代)</p> <p>屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長 EASTS元会長 (第6代)</p> <p>藤原 章正 広島大学教授、EAST会長 (第8代)</p> <p>【モデレーター】QA</p> <p>花岡 伸也 東京工業大学教授 EASTS事務局長</p>
閉会挨拶	屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長



オウ院長



パネルディスカッション
(左から屋井所長、藤原教授、オウ院長)



記念品の贈呈
(左から藤原教授、屋井所長、オウ院長、
兵藤東京海洋大学教授(前EASTS事務局長))

第4回JTTRIグローバルセミナー

「シンガポールにおけるモビリティの変革」～鉄道政策に焦点を当てて～

開催日	2024年5月30日（木） 14:00～17:30
場 所	トラストシティカンファランス・丸の内 丸の内トラストタワーN11階 及び オンライン配信（日英同時通訳）
開会挨拶	宿利 正史 運輸総合研究所会長
来賓挨拶	上原 淳 国土交通省国土交通審議官
基調講演	「シンガポールにおけるモビリティの変革」～鉄道政策に焦点を当てて～ Er. Chua Chong Kheng シンガポール陸上交通庁副長官
パネル ディス カッショ ン	<p>Er. Chua Chong Kheng シンガポール陸上交通庁副長官</p> <p>福田 大輔 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 【モデレーター兼】</p> <p>城石 文明 東急電鉄株式会社 取締役副会長</p> <p>山上 範芳 東京地下鉄株式会社常務執行役員 国際ビジネス担当</p>
閉会挨拶	藤崎 耕一 運輸総合研究所 主席研究員・研究統括

主なSDGs 関連項目



宿利会長

上原国交審

チュア副長官



福田教授

城石副会長

山上常務



藤崎主席研究員

デンマーク国民議会運輸委員会による当研究所訪問

- 2024年3月3日、デンマーク国民議会運輸委員会による日本視察の一環として、プレーン運輸委員長以下運輸委員会所属議員及びイエンセン駐日デンマーク大使が当研究所を訪問
- 研究員より、当研究所による高齢者モビリティ研究の内容について発表の上、日・デンマーク両国における高齢者モビリティ及び脱炭素の取組について意見交換を実施



○参加者

デンマーク側:

プレーン運輸委員長、マイルヴァン運輸副委員長以下デンマーク国民議会運輸委員会所属議員10名及び事務局員2名、イエンセン駐日大使他在京デンマーク大使館員1名

運輸総合研究所:

宿利会長、奥田専務、藤崎主席研究員・研究統括、大野国際部長、稲本研究員(発表者)、勝谷国際部次長(進行)他

フィリピン鉄道訓練センターによる当研究所訪問

- 2024年3月19日、フィリピン運輸省ロントック次官(PRI担当)以下フィリピン鉄道訓練センター(PRI)の一行は、この度JICA 研修事業としての訪日の機会を得て、運輸総合研究所を訪問
- 比側よりPRIの概要について、日側より運輸総合研究所の活動内容について、それぞれ説明を行った後、比において鉄道運営・整備に係る技術導入・国内展開を成功させるためには何が必要か、意見交換を実施

○参加者

フィリピン側:

ロントック運輸省/鉄道訓練センター担当次官他幹部職員3名、その他11名、JICA尾崎技術審議役以下6名、OCG萩原軌道交通計画部長以下2名、東京メトロ谷坂国際ビジネス部課長以下2名

運輸総合研究所側:

宿利会長、森地研究アドバイザー、奥田専務、藤崎研究統括、大野国際部長、川上国際・技術アドバイザー、山下特任研究員、勝谷国際部次長、黒川国際部次長(進行)、武藤主任研究員、竹内主任研究員、春名主任研究員、竹島主任研究員、他

